

なつがしの “カルタ”で あそぼう

富津ふるさとカルタ(な～ほ編)

※現在販売はしていません。それぞれホームページに印刷用データがあります。印刷してご利用ください。

平成6年7月、市内18の小中学校(当時の学校数)に「私の住む町ふつつ～ふるさとってどんなところ～」をテーマに、いろは44文字で始まる富津市内の名所、旧跡、名物などを折り込んだ標語の募集を依頼しました。その結果9月には、応募人数1,587人、3,427点の予想を越える作品が集まり、数多い作品の中から、子どもらしさ、学校、学年、地域のバランス、ことばの粹組み、事柄の重複等考慮しながら44の標語を選定しました。
(協力:富津市社会科教育実践を語る会 絵:大和美術印刷株式会社 宮澤 正明氏) ※カルタ制作時と現在は状況が変わっている場合があります。

富津市役所
教育部(教育委員会)生涯学習課
電話:0439-80-1345 富津市下飯野2443



な
菜の花の
頃に輝く
黄金井戸

萩生のヒカリモ(国指定)
萩生にある海蝕洞窟には、菜の花の咲く季節ともなる、薄暗い洞窟が金色に輝いて見えるヒカリモが発生し、そのため「黄金井戸」ともいいます。
ヒカリモはとても小さな鞭毛藻類です。



に
にぎやかな
声が響く
ジャンボプール

県立富津公園
地理的に、軍事施設として重要な役割をしてきた富津岬一帯は、昭和26年に県立公園に指定され、市民や県民のいこいの場となっています。公園内には、キャンプ場やジャンボプール、温水プール、テニスコートなどの各種の施設があります。



ぬ
布引きの
海を見守る
貴布祢さま

貴布祢神社
日本武尊の東征伝説にちなむ地名や、日本武尊・弟橘媛を祀った神社が西上総地方にはたくさんあります。貴布祢神社もそのひとつです。日本武尊の身代わりとして、入水した弟橘媛の着衣が流れつき、その遺品を祀ってあったといわれ、神社近くの海岸は「布引浦」といわれています。



ね
願いの事
田の草地蔵
月参り

田の草地蔵(市指定)
田の草地蔵は、吉野地区の八田沼にありませす。このお地蔵様がたんぼの草取りをして農民の暮らしを助けたというお話があり、毎月24日の縁日には、お参りの人で賑わっています。
田の草地蔵とは通称で、本当の名前は木造地藏菩薩立像といひます。



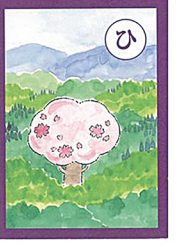
の
野ザル住む
緑豊かな
高岩山

高岩山の野生ニホンザル(国指定)
君津市と境になる高岩山(315メートル)のふもとの間農地区には、野生のニホンザルを餌つづけした自然動物園があります。周辺には多くの群が生息し、観光資源や学術資料となっています。そのかわり、住民にとっては野ザルの被害もあって、その対策も行われています。



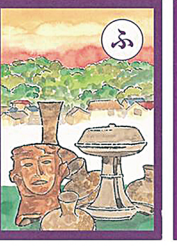
は
いわれたアオヤギ
味自慢
バカ貝と

バカガイとアオヤギ
富津地区の海岸を中心に富津市では、砂地に生息するバカガイがとれます。
アオヤギとは、東京の方言でバカガイのむきみのことです。寿司のネタとしても人気があり、加工業者も多くいて、重要な水産業となっています。
地元では、通称「バカ」といっています。



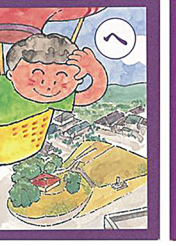
ひ
人知れず
薄紅色の
フジザクラ

向山のフジザクラ
天神山地区の向山には、かつてはフジザクラの樹林がありました。
フジザクラは、富士・箱根地方に多いサクラで、この地方では珍しいものです。
最近では、クヌギやガマズミなどの雑木に妨げられ、わずかな数になりました。



ふ
古き世の
富を伝える
内裏塚

内裏塚古墳(国指定)
飯野地区には、千葉県内で最大級の前方後円墳の「内裏塚古墳」があります。周辺には、大小20余りの古墳があります。
これらの古墳は、5～6世紀ごろにこの地方を治めた豪族の墳墓といわれています。



へ
弁天山古墳
横から見たら
ひょうたんんだ

弁天山古墳(国指定)
弁天山古墳は、中央公民館そばの小高い丘のごとで、推定して復元したものに
石棺蓋石中央の左右両端に縄掛け用の突起があり、全国的にも珍しいものです。
古墳の上に立つと、大貫の街並みが一望できます。



ほ
保科さまの
栄華をしのぶ
陣屋跡

飯野陣屋とその漆跡
飯野地区の飯野神社周辺には、江戸時代の飯野藩主(保科氏)の陣屋がありました。日本三大陣屋の一つといわれるほど立派なものだったそうです。
陣屋とは、江戸時代の小藩で城をもつことを許されなかった藩主の居所のことです。陣屋周辺の漆跡は、県指定です。